

令和7年度 教科シラバス

教 科	国語		科 目	論理国語		
単位数	2 単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	2(1)/8	レポート	6 回	
教科書	新編論理国語（大修館書店）		副教材	新編論理国語学習ノート（大修館書店） BRIDGE高校国語Standard（Benesse）		
放送視聴	NHK高校講座 論理国語 https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r_ronrikokugo/					

学習目標

主体的・対話的で深い学びを通して実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。

言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけ、読書に親しむ態度を養い、他社や社会に対する関心を養う。

現代社会における多様な問題・題材を提示し興味関心を喚起する。

学習内容

内 容	1日型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 自己を見つめて/社会に向かって (自分を客観的に見つめよう)	4月18日			①
2 思考を深める (根拠を吟味しよう)	5月30日			②
3 視点を変えて (複数の文章を比較し、分析しよう)	6月6日			③
4 1～3のまとめ	7月18日			
5 問いを深めて書く (小論文②) (テーマ型、課題文型、データ型小論文)	10月10日		52 言語活動【書く】仮説を立てて検証しよう (1) 53 言語活動【書く】仮説を立てて検証しよう (2) 54 言語活動【書く】仮説を立てて検証しよう (3)	④
6 現代を考える (話し合って考えを深めよう)	11月14日		32 言語活動【書く】短い論文を書いて読み合おう (1) 33 言語活動【書く】短い論文を書いて読み合おう (2) 34 言語活動【書く】短い論文を書いて読み合おう (3)	⑤
7 未来に目を向けて (身近な課題に取り組み、社会に提言しよう)	11月21日		44 「働くよろこび」について 45 働く人に聞いてみよう 51 考える楽しみ「真の価値」を求めて	⑥
8 5～7のまとめ	12月5日			

学習方法

キャリアコース週 1 日登校型	キャリアコース通信型
副教材を活用して問題演習を行いながら内容の理解を深めていく。学習前後は教科書本文をよく読んで内容の確認をする。類似的文章を扱うこともあるので比較しながら読んでいく。論理的文章を扱うことが多くなるので一文一文丁寧に読み進めていく。前期考查範囲 1～4、後期考查範囲 5～8	

評価方法

キャリアコース週 1 日登校型	キャリアコース通信型
・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート (振り返りも含む) ・授業プリント評価・定期考查 (2 回)	

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
b. 思考・判断・表現
「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教 科	国語		科 目	国語表現（3年）		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		2(1)/8	レポート	6回
教科書	国語表現（大修館書店）		副教材	国語表現 基礎練習ノート（大修館） 2024小論文頻出テーマ解説集 現代を知るplus 2024小論文頻出テーマ チェック＆ワーク		
放送視聴	NHK高校講座「国語表現」（過去の放送ライブラリーモードon） https://www.nhk.or.jp/kokokoza/kokuhyou/?lib=on					

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
--

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 自己PRと面接「自分を見つめて」 「効果的な自己PR」※チェック＆ワーク 「生活・社会」「環境」	4月18日	—	第1回「質問して当てよう・他己紹介をしよう」 第10回「声を出そう・文字を声に変える」 第15回「自分を知る・相手を知る」	①
2 自己PRと面接「将来の自分を考えよう」 「志望理由を書こう」「自己推薦書や学習計画書を書く」※チェック＆ワーク 「国際問題・異文化理解」「日本語・日本人」	6月6日	夏季	第13回「待遇表現」 第15回「自分を知る・相手を知る」 第16回「模擬面接をする」	②
3 自己PRと面接「面接にチャレンジ」 ／履歴書の書き方 ※チェック＆ワーク 「国際問題・異文化理解」「日本語・日本人」	6月13日	—	第13回「待遇表現」 第15回「自分を知る・相手を知る」 第16回「模擬面接をする」	②
4 メディアを駆使する「通信文を書き分ける」 「電話を使いこなす」※チェック＆ワーク 「教育」「福祉」※チェック＆ワーク 「政治・経済」「情報・メディア」	7月25日	—	第13回「待遇表現」 第22回「電話とメモ」 第23回「手紙」	③
5 メディアを駆使する「電子メールを活用しよう」 「ネット社会との付き合い方」「ネットを活用した情報収集」 「メディアと情報」※チェック＆ワーク 「政治・経済」「情報・メディア」	10月10日	—	第21回「電子メール」 第36回「メディアの特性を知る」 第37回「広告というメディアを読む」	④
6 会議・議論・発表「相手や場面に応じた会話」「スピーチをしよう」	11月21日	—	第10回「声を出そう・文字を声に変える」 第11回「スピーチの方法」 第13回「待遇表現」	④
7 会議・議論・発表「建設的な議論の進め方」 「プレゼンテーションの工夫」※チェック＆ワーク 「科学技術」	12月5日	—	第24回「プレゼンテーションの技術と実際」 第25回「スライドを使ったプレゼンテーション」 第29回「ブレンストリーミング」	⑤
8 言葉で遊ぶ／「わが町自慢」のパンフレット作り ※チェック＆ワーク「医療・看護」	12月19日	—	第38回「情報を編集する」 第39回「地域を知る」 第40回「地域と関わる・地域とつながる表現活動」	⑥

学習方法

キャリアコース週 1 日登校型	キャリアコース通信型
・教科書を事前に読み、授業に参加する。授業内でのさまざまな活動を通して内容の理解を深める。 ・レポート・副教材を活用して学習のまとめを行う。	・教科書を事前に読み、授業に参加する。授業を通して内容の理解を深める。 ・放送視聴は、視聴後に視聴報告書をまとめる。 ・レポート・副教材を活用して学習のまとめを行う。

評価方法

キャリアコース週 1 日登校型	キャリアコース通信型
・授業中の行動観察 ・ワークシート、小テスト ・ノート等授業記録 ・授業の振り返り ・レポート評価 ・定期考査（2 回）	・授業中の行動観察 ・ワークシート、小テスト ・視聴報告書及び授業記録 ・授業の振り返り ・レポート評価 ・定期考査（2 回）

評価の観点

a. 知識・技能
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
b. 思考・判断・表現
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
c. 主体的に取り組む態度
言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教 科	地理歴史		科 目	地理探究		
単位数	3 単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		3(1)/11	レポート	9回
教科書	新詳 地理探究(帝国書院)、基本地図帳 (二宮書店)		副教材	なし		
放送視聴	https://www.nhk.or.jp/kokokoza/chiri-tanq/					

学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な 形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
第 1 部 現代世界の系統地理的考察				
第 1 章 自然環境 序 地球環境と人間/1 地形	4月18日		1 地理的な探究をしよう！ 2 地球規模の大地形 3 多様な小地形	①
2 気候/3 日本の自然環境	5月9日	8月6日	4 気候の成り立ちと生態系 5 世界の気候帯 6 日本の自然環境と自然災害 7 地球環境問題	②
第 2 章 資源と産業 1 農林水産業/2 食糧問題	6月6日		9 現代世界の農業 10 世界と日本の食料問題	③
3 エネルギー・鉱産資源/4 資源エネルギー問題	6月20日		11 エネルギー資源 12 エネルギー問題	④
第 4 章 人口、村落・都市 1 人口/2 人口問題	7月25日		19 世界の人口と人口移動 20 世界と日本の人口問題 21 村落と都市 22 世界の都市・居住問題	⑤
第 5 章 生活文化、民族・宗教 1 衣食住/2 民族・宗教と民族問題 /3 国家の領域と領土問題	8月29日		24 世界の衣食住 25 民族・宗教と民族問題 26 国家の領域と領土問題	⑥
第 2 部 現代世界の地誌的考察				
第 2 章 現代世界の諸地域 序 地域の考察方法/1 中国/2 韓国	10月10日	12月23日	27 地域区分と地誌的な考察方法 28 中国 29 韓国	⑦
7 EU諸国/8 ロシア	10月31日		30 ASEAN諸国 34 EU諸国 35 ロシア	⑧
9 アメリカ合衆国/10 ラテンアメリカ/11 オーストラリアとニュージーランド	11月21日		36 アメリカ合衆国 37 ラテンアメリカ 38 オーストラリアとニュージーランド	⑨
考查対策	12月19日			

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
【授業】授業プリントで概要や重要箇所を学習する 【授業プリント】教科書を見ながら学習する 【レポート】主に授業プリントの内容を復習する 【考查勉強】絶対に出るプリント・授業プリントから出題 【学び直し】世界の国名・地形、日本の都道府県・地形	【スクーリング】授業プリントで重要箇所を学習する 【授業プリント】教科書を見ながら学習する 【レポート】主に授業プリントの内容を復習する 【放送視聴課題】映像で重要箇所の内容を学習する 【考查勉強】絶対に出るプリント・授業プリントから出題 【学び直し】世界の国名・地形、日本の都道府県・地形

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点（評価方法/配点割合）

a. 知識・技能（定期考查/50）
地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
b. 思考・判断・表現（レポート/30）
地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりしている。
c. 主体的に取り組む態度（授業プリント、オンライン型は放送視聴課題も含む/20）
地理に関わる諸事象について，国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教 科	数学		科 目	数学A		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		2(1)／8	レポート	6回
教科書	新数学A (東京書籍)		副教材	ニューファースト新数学A (東京書籍)		
放送視聴	NHK高校講座 数学A https://www.nhk.or.jp/kokokoza/suugakua/					

学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 図形の構成要素間の関係などに着目、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
場合の数	4月11日	7月31日		①
場合の数・確率	5月23日	放送視聴①	10 事象と確率	②
確率	6月20日			③
前期問題復習	7月25日			
図形の性質	8月29日	放送視聴①	29 方べきの定理と2つの円	④
図形の性質	9月26日			⑤
数学と人間の活動	10月31日	放送視聴①	34 約数と倍数	⑥
後期問題復習	12月5日			

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
教科書に沿って、定義と公式の意味・使い方、例題を中心に解説します。	教科書に沿って、定義と公式の意味・使い方、例題を中心に解説します。放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
①授業態度（出席率等も含む）②レポート評価 ③定期考査（2回）	①授業態度、視聴課題の報告②レポート評価 ③定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能
・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
b. 思考・判断・表現
・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。 ・不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。
c. 主体的に取り組む態度
・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教 科	理科		科 目	化学基礎		
単位数	3 単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		12(7)/12	レポート	9 回
教科書	高等学校 新化学基礎 (第一学習社)		副教材	ネオパルノート化学基礎 (第一学習社)		
放送視聴	NHK高校講座 化学基礎 https://www.nhk.or.jp/kokokoza/kagakukiso/					

学習目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 物質の成分	4月11日	放送視聴①	2 純物質と混合物 4 単体と化合物 5 元素の確認	①
2 原子の構造と元素の周期表	5月9日	7月28日		②
3 化学結合	5月30日	放送視聴②	10 イオンの形成 11 イオン結合とイオン結晶 12 分子と共有結合	③
4 有効数字の扱い方	6月13日	7月29日		④
5 物質と濃度	7月4日	7月30日		⑤
6 前期問題演習	7月18日	放送視聴③	14 金属と金属結合 15 物質の性質を学ぶ① ～無機物質～ 16 物質の性質を学ぶ② ～有機化合物～	
7 化学反応式と物質の量的関係	8月29日	12月22日		⑥
8 酸・塩基と水素イオン濃度	9月26日	放送視聴④	25 酸と塩基 26 酸と塩基の強さ 27 水素イオン濃度とpH	⑦
9 中和の量的関係	11月7日	12月24日		⑧
10 酸化還元反応	11月14日	放送視聴⑤	33 酸化・還元 34 酸化・還元と酸化数 35 酸化剤と還元剤	⑨
11 後期問題演習①	11月28日	放送視聴⑥	36 金属のイオン化傾向 37 電池と電気分解 38 身近な酸化還元反応	
12 後期問題演習②	12月12日	放送視聴⑦	32 中和滴定 39 化学が拓く世界①～暮らしを支える科学技術～ 40 化学が拓く世界②～持続可能な社会と科学技術～	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
授業では要点を説明する。問題演習は副教材を使用。 前期考查範囲：1～6、後期考查範囲：7～12	授業では要点を説明する。問題演習は副教材を使用。 放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。 前期考查範囲：1～6、後期考查範囲：7～12

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価 ・定期考查（2回）	・授業態度、視聴課題の報告 ・レポート評価 ・定期考查（2回）

評価の観点

a. 知識・技能
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
b. 思考・判断・表現
自然の事物・現象から問題を見だし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。
c. 主体的に取り組む態度
自然の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教 科	理科		科 目	生物基礎		
単位数	3 単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		12(7)/12	レポート	9 回
教科書	高等学校 新生物基礎 (第一学習社)		副教材	ネオパルノート生物基礎 (第一学習社)		
放送視聴	NHK高校講座 化学基礎 https://www.nhk.or.jp/kokokoza/seibutsukiso/					

学習目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 生物の共通性	4月18日	放送視聴①	1 生物の特徴 2 生物の多様性 3 生物の共通性	①
2 生物とエネルギー	5月16日	放送視聴②	5 生体とATP 7 呼吸 8 光合成	②
3 遺伝情報とDNA	5月30日	7月28日		③
4 遺伝情報とタンパク質の合成	6月6日	7月30日		④
5 からだの調節と情報の伝達①	6月20日	放送視聴③	17 体内環境 20 内分泌系による情報伝達 21 血糖濃度の調節	⑤
6 前期問題演習	7月25日	放送視聴④	18 神経系による情報伝達 ① 19 神経系による情報伝達 ② 22 人体図鑑	
7 からだの調節と情報の伝達②	8月29日	12月22日		⑥
8 免疫	9月26日	12月23日		⑦
9 植生と遷移	11月14日	12月25日		⑧
10 生態系とその保全	11月21日	放送視聴⑤	34 生態系における生物の多様性 ① 35 生態系における生物の多様性 ② 36 生態系における生物間の関係	⑨
11 後期問題演習①	12月12日	放送視聴⑥	37 生態系と人為的攪乱 38 生態系の保全 ① 39 生態系の保全 ②	
12 後期問題演習②	12月19日	放送視聴⑦	23 免疫のしくみ ① 24 免疫のしくみ ② 25 免疫の応用	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
授業では要点を説明する。問題演習は副教材を使用。 前期考查範囲：1～6、後期考查範囲：7～12	授業では要点を説明する。問題演習は副教材を使用。 放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。 前期考查範囲：1～6、後期考查範囲：5～12

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
・ 授業態度 ・ レポート評価 ・ 定期考查（2回）	・ 授業態度、視聴課題の報告 ・ レポート評価 ・ 定期考查（2回）

評価の観点

a. 知識・技能
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
b. 思考・判断・表現
自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
c. 主体的に取り組む態度
自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

令和7年度 教科シラバス

教 科	保健体育		科 目	体育（3年次）		
単位数	週1：2 単位	必要面接時数/実施時数		10/16	レポート	2 回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)		副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports		
放送視聴	NHK高校講座 保健体育 https://www.nhk.or.jp/kokokoza/taiiku/ https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_hoken/					

学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学習内容

内 容	1日登校型				レポート
新体力テスト・体づくり運動	2025/4/25	—			①
新体力テスト・体づくり運動	2025/4/25	—			
新体力テスト・体づくり運動	2025/5/23	—			
バレーボール・新体力テスト	2025/5/23	—			①
バレーボール・新体力テスト	2025/6/13	—			
バレーボール・陸上競技	2025/6/13	—			①
バレーボール・陸上競技	2025/7/30	—	バレーボール・新体力テスト	2025/7/11	—
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/7/30	—	バレーボール・陸上競技	2025/7/11	—
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/7/31	—	バレーボール・陸上競技	2025/7/30	夏季
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/10/17	—	バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/7/31	夏季
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/10/17	—			
バドミントン・卓球	2025/11/7	—			②
バドミントン・卓球	2025/11/7	—			
バドミントン・卓球	2025/11/28	—			
バドミントン・卓球	2025/11/28	—	バドミントン・卓球	2025/12/24	冬季
バドミントン・卓球	2025/12/12	冬季	バドミントン・卓球	2025/12/25	冬季

学習方法

キャリアコース週 1 日登校型					
・レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。					
・実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。					

評価方法

キャリアコース週 1 日登校型
・ 授業態度(出席率等も含む) ・ 実技テスト ・ レポート評価

評価の観点

a. 知識・技能
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
b. 思考・判断・表現
自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
c. 主体的に取り組む態度
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

令和7年度 教科シラバス

教 科	保健体育		科 目	体育（3年次）		
単位数	オンライン型：3単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		15(9)/16(6)	レポート	3回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)		副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports		
放送視聴	NHK高校講座 保健体育 https://www.nhk.or.jp/kokokoza/taiiku/ https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_hoken/					

学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)		レポート
新体力テスト・体づくり運動	2025/4/25	—	1～5 健康の考え方と成り立ち、私たちの		①
新体力テスト・体づくり運動	2025/4/25	—	健康のすがた、生活習慣病とその予防 他		
新体力テスト・体づくり運動	2025/5/23	—	保健体育15～19精神疾患の特徴、性疾患予防と回復、		
バレーボール・新体力テスト	2025/5/23	—	健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり 他		②
バレーボール・新体力テスト	2025/6/13	—	保健体育25、26応急手当の意義と日常的な		
バレーボール・陸上競技	2025/6/13	—	応急手当、心肺蘇生法		
バレーボール・陸上競技	2025/7/30	夏季	保健体育30～34思春期における健康課題と		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/7/30	夏季	性行動の選択、妊娠・出産と家族計画 他		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/10/17	—	保健体育36～37、39～41環境衛生活動と環		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/10/17	—	境と健康に関わる対策 他		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/11/7	—	バレーボール・新体力テスト	2025/7/11	—
バドミントン・卓球	2025/11/7	—	バレーボール・陸上競技	2025/7/11	③
バドミントン・卓球	2025/11/28	—	バレーボール・陸上競技	2025/7/30	夏季
バドミントン・卓球	2025/11/28	—	バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/7/31	夏季
バドミントン・卓球	2025/12/24	冬季	バドミントン・卓球	2025/12/24	冬季
バドミントン・卓球	2025/12/24	冬季	バドミントン・卓球	2025/12/25	冬季

学習方法

キャリアコースオンライン型
・レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。 放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。

評価方法

キャリアコースオンライン型
・ 授業態度、視聴課題の報告 ・ 実技テスト ・ レポート評価

評価の観点

a. 知識・技能
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
b. 思考・判断・表現
自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
c. 主体的に取り組む態度
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

教 科	外国語		科 目	論理と表現		
単位数	3単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		12 (7) /12	レポート	9回
教科書	Vista Logic and Expression 三省堂		副教材	Vista Logic and Expression サブノート 三省堂		
放送視聴	NHK ラジオ高校講座 英語表現Ⅰ					

学習目標

・ 基礎的な文法事項を復習し、情報や考えなどを伝える能力の向上を図る。 ・ 場面を想定し、簡単な表現や説明ができるようになる。

学習内容

内 容	1日登校型	通信型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
(1) Lesson1(現在形) .Lesson2(過去形)	4月25日	視聴課題 1	1オリエンテーション、2 英文の基本 3 Lesson1 (1)	①
(2) Lesson3進行形	5月9日	視聴課題 2	4 Lesson2、 7 振り返ろう 8 基本文法を使いこなそう！	①
(3) Lesson 4 未来形	5月23日	視聴課題 3	5 Lesson3 、 9 Enjoy speaking1 10 Enjoy writing 1	②
(4) Lesson 5 ・ 6 現在完了形	7月4日	視聴課題 4	6 Lesson 4 、 20 Lesson11、 30 Enjoy speaking 4	③
(5) Lesson 7 比較	7月4日	7月28日		④
(6) Lesson 8 助動詞	7月18日	7月31日		⑤
(7) Lesson9助動詞	9月5日	視聴課題 5	17 Enjoy writing2 32 Lesson17 33 Lesson18	⑥
(8) Lesson10 (受け身)	9月5日	視聴課題 6	18 Lesson9 29振り返ろう(4) 31 Enjoy writing 4	⑥
(9) Lesson11・ 1 2 (不定詞)	10月17日	視聴課題 7	19 Lesson10 24 Enjoy Speaking3 25 Enjoy writing 3	⑦
(10) Lesson 1 3 (分詞)	10月31日	12月22日		⑧
(11)Lesson 1 4 (関係代名詞)	11月7日	12月23日		⑧
(12) Lesson 1 5 (仮定法)	12月19日	12月25日		⑨

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
・ 文法説明を聞き、ノートワークにまとめる。 ・ 本文内容理解を教師の支援のもと、進めていく。 ワークを使用しながら、1時間あたり、レポート1枚の範囲を進める。	・ 文法説明を聞き、ノートにまとめる。 ・ ワークの問題に取り組む ・ 視聴前にPDFより学習メモを開き、メモを取りながら視聴する

評価方法

キャリアコース週 1 日登校型	キャリアコース通信型
・ 授業態度（出席率等も含む） ・ レポート評価 ・ 定期考査（2 回）	・ 授業態度（視聴課題の報告） ・ レポート評価 ・ 定期考査（2 回）

評価の観点

a. 知識・技能
外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きや特徴などの理解を深める。これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの活動において、基本的な語句や文を用いて、伝えるために必要な技能を身に付ける。
b. 思考・判断・表現
コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
c. 主体的に取り組む態度
外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手 に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教 科	家庭		科 目	家庭基礎		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		8(4)/8	レポート	8回
教科書	Survive!! 高等学校 家庭基礎 (教育図書)		副教材	食べ物ドリル 新大人」ドリル (教育図書)		
放送視聴	NHK高校講座 家庭総合 https://www.nhk.or.jp/kokokoza/katei/					

学習目標 KOU

- ・生活に関する知識や技術、考え方を身につけ実践して、これからの長い人生を自分らしい充実したものにする。
- ・生活の主体者になったときの生活の仕方を考え実践できるようにする。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 おとなって何だろう？	4月25日	7月23日	1 自立ってどういうこと？ 4 対等な関係ってなんだろう？ 5 結婚いろいろ・・・？ 6 家族って何？ 7 二択で行き詰った！そんなときは？	①
2 青年期・家族			9 私の体は誰のもの？ 10 赤ちゃんってどんな生き物？ 11 どんな子育てをしたい？ 12 子どもが子どもでいるためには？	
3 保育	5月30日	放送視聴①	13 「高齢者」って誰のこと？ 14 要介護・・・どう支える？ 15 「助ける」立場？「頼る」立場？ 16 福祉制度は誰のため？ 19 なんのために人は食べるの？	②
4 高齢者・共生社会	6月20日	放送視聴②	20 栄養バランスをとるコツは？	③
5 食生活①	7月18日	放送視聴③	21 食生活はじめの一步！ 22 調理の仕方をどう学ぶ 23 いろんな人いろんな食事 25 なんのために人は切るの？	④
6 食生活②	10月10日	放送視聴④	26 服の理想の素材とは？ 27 大切な1着をながもちさせるには？	⑤
7 衣生活	10月17日	放送視聴⑤	31 なんのために人はすむの？ 32 どんな部屋で暮らしたい？	⑥
8 住生活	11月14日	放送視聴⑥	36 買い物で失敗…どうしよう？ 37 どんなふうに働きたい？ 38 お金と人生の幸せな関係とは？	⑦
9 消費生活	12月20日	12月23日		⑧

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
教科書、副教材を活用しながら、レポート範囲の要点を説明する 前期考查範囲:1～5、後期考查範囲 6～10	授業では、教科書、副教材を活用しながらレポート範囲の要点を説明する。 放送視聴は、視聴後に報告用紙にまとめる。 前期考查範囲：1～5、後期考查範囲：6～10

評価方法

キャリアコース週 1 日登校型	キャリアコース通信型
・ 授業態度（出席率も含む） ・ 演習課題 ・ レポート評価 ・ 定期考査（2回）	・ 授業態度（出席率も含む） ・ 視聴課題の報告 ・ レポート評価 ・ 定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能
生活の仕方について学び、生活に関する知識や技術を身につけ、生活に生かしていくことを学ぶ。
b. 思考・判断・表現
生活の主体者として思考し、判断し、導き出した自らの考えを的確に表現する
c. 主体的に取り組む態度
これから自分がどのような生活を営んでいこうとするか、生活の主体者になったときの生活の仕方を考え、関心を高める態度を身につける。

令和7年度 教科シラバス

教 科	学校設定科目		科 目	ベーシック（3年）		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		1日:3/4 月:2/2	レポート	2回
アプリ	Monoxer（モノグサ）		アプリ内 テキスト	SPI3&テストセンター 出るところだけ！ 完全 対策		
放送視聴	なし					

学習目標

・ 「考える力」を主軸に、勉強をする意義をよく理解する。
・ 学力の底上げになるトレーニングを行い、勉強へ向かう意欲を向上させる。
・ 自分自身の脳の働きを知る事で、長所短所を見出す。
・ 物事を多角的かつ幅広く観ることが出来る様になる為、柔軟性を持たせた学習をする。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
基礎コンテンツ、SPI3の計画	4月11日			
基礎コンテンツ授業内テスト	7月4日	7月29日		①
基礎コンテンツ、SPI3の計画	9月26日			
基礎コンテンツ授業内テスト	11月28日	12月24日		②

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
—	SPI3&テストセンターは各自で進める。 基礎コンテンツ（中学国数英）を計画に基づいて進める。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
—	SPI3&テストセンターについて、レポート扱いとする。 基礎コンテンツについては、各期ごとに確認テストを行い、 評価する。 達成率等も評価基準とする。

評価の観点

a. 知識・技能
基礎学力の向上や、一般常識の学習。
b. 思考・判断・表現
計画を立て、遂行する能力を養う。
c. 主体的に取り組む態度
毎日の学習習慣の確立。

令和7年度 教科シラバス

教 科	総合的な探究の時間		科 目			
単位数	1 単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	1(0)／4	レポート	2 回	
教科書	なし		副教材	高校生からのビジネスマナー（実教出版）		
放送視聴	なし					

学習目標

副教材を利用し、自らの課題の解決に向けて、生徒に考えさせながら学習をすすめる。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 章 社会人の心構えと働き方	2025/5/9			
2 章 ビジネスマナー	2025/5/16	12月22日		①
3 章 ビジネスキル	2025/9/5			②
4 章 ビジネス関連知識	2025/10/31			
5 章 就職活動				

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
副教材を利用し、自らの課題の解決に向けて、生徒に考えさせながら学習をすすめる。	副教材を利用し、自らの課題の解決に向けて、生徒に考えさせながら学習をすすめる。

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
・ 副教材 ・ 授業態度（出席率も含む） ・ レポート	・ 副教材 ・ 授業態度（出席率も含む） ・ レポート

評価の観点

a. 知識・技能
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。
b. 思考・判断・表現
実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現している。
c. 主体的に取り組む態度
探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。